

地域活動と協働する水循環健全化に関する研究

(平成18～20年度 18年度予算額:10百万円)

目的

水循環の健全化を図る施策や地域活動について、その多面的な効果を定量的に評価するとともに、効果・便益が帰着する地域・個人の範囲、地域全体での効果等を分析し、その効果を的確に認知できる情報提供ツールの開発や活動阻害要因の軽減策などの地域活動の活性化のための手法を構築する。

内容

水循環の健全化を図るため、地域と協働して行う施策や地域活動について、便益帰着システム(どのような便益を誰が受け取るのか)を分析するとともに、情報提供ツールや活動阻害要因軽減手法など、地域活動を活性化するための協働マニュアルを作成する。

効果

協働して水循環の健全化を図ろうとする住民・NPO・自治体・河川管理者等、各主体の活動目的に見合った目標や活動の意義が明確になることにより、地域活動の活性化、住民の環境意識の向上・地域活動への参画促進、地域活動と行政の協働の指針となり、適切な役割分担の下で、効果的に水循環の健全化が図られる。

